

図書館だより

7月号

令和7年7月10日

港区立港南中学校

校長 江口 昌之

学校司書 平賀 玲奈

図書館支援員 井田 治子

小澤あやめ

蔡 美京



今年もまた暑い季節がやって来ました。夏休みもうすぐですね。

今回のおすすめ本は、第71回青少年読書感想文全国コンクール課題図書です。読書感想文コンクール・中学生の部は、原稿用紙縦書きで2000字以内、課題図書・自由図書どちらでも応募できます。良かったらぜひチャレンジして下さい。

【夏休み特別貸出について】

夏休み中は、一人5冊まで。

貸出期間は 7/17 (木) まで。

返却期限は 9/12 (金) です。

夏休み期間中、図書館は閉館します。



港区立図書館による「中高生書評合戦2025」POPバトル・ビブリアバトルが今年も開催されます。POP用紙(厚紙)は図書館にありますので、応募希望者にさしあげます。記入のうえ 9/4 (木) までに図書館にお持ちください。

七月のおすすめ本



『わたしは食べるのが下手』(913 テ)

天川 栄人/著 (小峰書店)

皆さんは、給食が好きですか。給食は育ち盛りの身体に必要な栄養価が計算されて作られています。ただ、様々な理由で給食を食べられない子もいます。この本は、そんな中学1年生の生徒達の物語です。

「“食べられない”わたしたちの給食革命」を読んでみて下さい。



『スラムに水は流れない』(933 バ)

ヴァルシャ・バジャージ/著

(あすなろ書房)



インドの大都会ムンバイのスラムで暮らす少女ミーナ。病気になったお母さんの代わりに裕福な家で家政婦として働き始めますが、水が十分にいきわたらないスラムとちがってそこでは水がいくらかでも使えることに衝撃を受けます。さまざまな格差に直面した少女の勇気と成長の物語です。



『鳥居きみ子：家族とフィールドワークを進めた人類学者』

(289 ト)

竹内 紘子/著 (くもん出版)



昔の東アジアや東南アジアを、一生涯をかけてフィールドワークしたある人類学者の家族の日記。危険を乗り越えて発見したのは、金でも宝石でもない大事なものでした。その結果、日本人のルーツを考えることとなります。